校友時報

平成23年3月2日
編集人兼発行人
秋田県能代市高塩2番1号
秋田県立能代高等学校新聞部
印刷所　㈲こんどう印刷

命の使い道

校長　山本　達行

三年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。若者の夢と希望にあふれた顔、新たな世界に飛び込んでいく姿はいつ見ても良いものです。しかし、私たちの日本は全体に元気が無く、大学卒業者の就職は「超氷河期」状態に陥っています。そして、テレビなどを通して見せつけられる、リクルートスーツに身を包み説明会に向かう大学生の長蛇の列は、否応なしに私たちを不安に駆り立てます。しかし、冷静に事態を調べてみれば、この状況は私たちに意識の変化を求めているように思います。

山本達行校長先生

確かに求人数は減少していますが無くなっている訳ではありません。企業は生き残りをかけて優秀な人材を厳選しようとしています。しかも、優秀な人材であれば国籍を問わなくなっています。言い換えれば、世界中から優秀な人を採用しようとしているのです。従って、語学や専門領域に関しての実力が無ければ、就職できないのは当然なのです。いまや、大学生であるというだけでは何の魅力もありません。将来の目標に向かってモチベーションを高め自分自身を磨き続けた人だけが、これだけは絶対に他人に負けないというものを持っている人だけが、希望する道を進める社会になったのです。皆さんはこれから、このグローバルな競争社会の中で生きていかなければならないのです。その覚悟が求められているのです。少なくとも、「大学時代は楽しんで、どこか良いところに就職できたらいいな」といった気持ちは捨てることです。大学は、夢の実現に向かって自分自身を鍛えるためにいくところと心得てください。

また、大学生の大企業中心の求職動向も就職難に拍車をかけているといいます。これは安定志向のあらわれでしょうが、力の無いものは淘汰されるのが今の社会です。大企業や官庁に入れば安定した生活が保障されるとの考えも、既に過去のものです。やはり専門分野の力をつけ、得意とする分野で自分の能力を発揮することを最優先に、中小企業や海外の企業にまで視野を広げて考える時代だと思います。また、起業という選択肢も考えるべきでしょう。甘えを捨て、意識を変え、自分の能力を発揮できる道を見いだして欲しい。

あなたは、自分の命を何に使うのですか？

大切なもの

生徒会長　加藤　僚祐

三年生の皆さん、御卒業おめでとうございます。この三年間を通し、皆さんは良き出会いと経験を重ね、大切なものを手にしてきたと思います。大切なものの形は人それぞれだとは思いますが、この三年間は、全ての三年生にとって、かけがえのない時間だったのではないでしょうか。

先輩方が全力で取り組んできた様々なこと。それは部活動であったり、行事であったり、勉強であったりと、形は様々ですが、その全てが能代高校の活力となったことは間違いありません。

生徒会活動では、鈴木生徒会長を中心に、能代高校を少しでもよくしようと日々話し合い、常に全力を尽くされていました。学校をよりよくしようとする三年生の強い気持ちは活発な話し合いとなった生徒総会によく表れていたと思います。

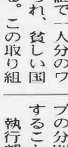
校内体育大会では、クラスごとに団結し、抜群のチームワークで一・二年生を圧倒していました。スポーツなのでどうしても勝ち負けはありますが、全力で体育大会を楽しんでいる三年生の姿がとても印象に残っています。

能代高校の最大の行事である能代高祭では、三年生一人一人の熱い思いが爆発し大成功を収められました。能高祭実行委員は雪が融ける前から本番直前まで企画や準備に明け暮れ、各クラスにおいても直前まで制作に奮闘し、仲間との絆をより一層深め合うことができたのではないでしょうか。

どの部門においても先輩方の作品のレベルの高さは際立っていましたが、中でもHRデコにおけるもてなしの細やかさは群を抜いていました。

能高祭や体育大会をはじめとする様々な行事や部活動を通して、私達は先輩方から多くのことを学ぶことができました。いつも先頭に立ち、導いて下さった皆さんは、とても輝いていて、常に私達にとって憧れの存在でした。そんな先輩方の後を継ぐということには、かなりのプレッシャーと不安があります。しかし、私達には先輩方が残して下さった大切なものもたくさんあります。活気や優しさ、強い意思など、挙げるときりがありません。

皆さんはこれから能代高校を離れることで、大きな壁にぶつかったりすることがあるかもしれません。しかし、先輩方にはこの学舎で得たそれぞれの「大切なもの」があるはずですし、何より、皆さんはこの三年間どんな困難をも乗り越えてきた私達の憧れなのですから、是非それらを糧に、これから出会うであろういかなる壁ものり越えていって下さい。別れは辛いですが、私達はこれから先輩方の意思を引き継ぎ能代高校の伝統を守り続けていきます。皆さんの明るい将来とこれからの益々の御活躍を在校生一同心からお祈りしています。本当にありがとうございました。



高校生集う　学術顧問シンポジウム

平成二十二年十一月十二日に能代高校の第一体育館で、「秋田県立高等学校学術顧問シンポジウム」が開催された。学術顧問として保坂武文さん（本田技術研究所社友）、竹内智さん（山梨大学工学部教授）、小笠原康悦さん（東北大学加齢医学研究所教授）の三名の方が来校し、お話をいただいた。その日は能代高校の全校生徒に加えて能代市内の三つの高校の代表生徒が本校に訪れた。また、教育庁、学校関係者の方々も多数お越し下さった。

今回のシンポジウムのテーマは「学問の魅力、仕事のやりがいとは」と「高校生の今はいかに生きるか」の二つ。三名が話したことについて生徒から多くの質問が飛び交い充実した内容となった。主な質問内容は、「企業が求める人材とは何か」「後悔しない人生選択をするにはどうしたらよいか」「嫌いなことを頑張るにはどうしたらよいか」などである。

テーマである「学問の魅力・仕事のやりがい」について学術顧問はそれぞれ、

小笠原康悦さん

「高校は受動的に学習するのに対し、大学では自分でテーマを見つけて学習する。研究職のやりがいは世界中で誰も知らないことを一番最初に知れることだ」

竹内　智さん

「人類が見つけたものを受け継ぎ、発展させることがやりがい。『頑張らない』ということも必要だ」

保坂　武文さん

「学校の勉強は社会に出て行く上で踏み台になる。国際社会なのだから、英語やヨーロッパに行くのならスペイン語もやった方がよい。自分の進路を早くから定めた方がよい」と語った。

また、「後悔しない人生選択」については、

小笠原康悦さん

「夢をもって前に進めば、自分が進むべき道になる」

竹内　智さん

「他人まかせはNG。自分で考えること」

保坂　武文さん

「自分が一番好きなこと、難しいと思うことをやる。失敗したら戻ればよい。そうすれば怖いものはない」

と話された。

シンポジウムでは仕事のことやこれから生きていく上で大切なことなど、普段は聞くことができない貴重なお話を伺うことができた。最後には学術顧問から高校生達へメッセージもあり、自分のこれからや、今何をすべきかについて真剣に考える一つの機会となった。三名が共通しておっしゃっていたことは「勉強は無駄にならない」ということと「夢をもつ」ということ。自分の人生をよりよいものにするために必要なことを学び、参加者全員にとって有意義なものとなった。

「三千個以上でも目標はまだまだ上。これからも活動を続け、一人でも多くの人を救うことが出来たら良いなと思う。今年も活動は続くので、是非積極的に協力をお願いします」と話す。生徒一人一人の意識が変われば、全校で何ものの恵まれない子供たちを救うことができる。世界の子供たちのためにも、この運動に積極的に参加してみてはどうだろうか。

きキャップは三じゃない!!　子供たちへのワクチンを

集まった多くのキャップ

二〇一〇年十月二十日、本校で初めての取り組みとなるペットボトルキャップ回収運動が始まった。この運動は執行部が主体となって行っているものである。集められたキャップは八百個で一人分のワクチンに替えられ、貧しい国々へ寄付される。この取り組みは能代高校だけでなく、県内の高校やアクロスでも行われている。

現在集まっているキャップは約三千個。これは約四人分のワクチンである。しかし、燃えるゴミに捨てられているキャップも多く、それらがすべて回収されればさらに多くのキャップを集めることができる。燃えるゴミとして焼却処分されると、キャップ四百個で二一五〇グラムの二酸化炭素が発生するため、キャップの分別は二酸化炭素を削減することにもつながるのだ。

執行部の菅原一景さんは、

各クラスのキャップ回収箱

おめでとう日本一！　能代高校軟式野球部

今畠寿樹先生

能代高校軟式野球部が第55回全国軟式野球選手権大会で優勝した。能代高校の優勝は28年ぶりで、２回目の優勝である。

決勝戦は８月30日、兵庫県明石市の明石公園野球場で行われ、能代高校は四国代表の新田高校（愛媛）に２－１でサヨナラ勝ちを決めた。能代は３回に一点を奪われたが、８回に同点となり、最終回で勝ち越した。能代高校からは応援団、吹奏楽部、３年生を中心として代表生徒が明石に応援へ向かっていた。能代に残った多くの生徒と先生方は、この劇的な勝利の知らせに大いに沸いた。

昭和57年以来28年ぶりの優勝を決めたことについて、監督の今畠寿樹先生は、「まず、よかったなと。今までも東北大会への出場はできていたが、毎年負けていたので全国優勝は本当にうれしかった。部員の減少や、自分たちの特徴であるチームカラーを作ってゆくことに苦労したが、生徒に実感のある野球を目指して攻撃を主軸としたチームを作ることができた。これまで上位大会出場を経験してきたおかげで感覚はつかめていたので、今までの選手に感謝している」と、語った。

軟式野球部は全国優勝後、31日に能代に凱旋し、第一体育館で優勝報告会を開いた。この年の能代の野球旋風を、最高の形で終える結果となった。

（提供：佐藤写真館）

←能代へ凱旋する軟式野球部

朝、登校時のバス内で能高生を見てみると、学校に着くまでの時間の過ごし方は人それぞれだ。単語帳やノートを開く人、友人とおしゃべりをする人と、様々である。▼我が校で、バスを利用して登校する人は多い。そうでない人は朝八時までに登校し、朝学習をすることになっている。それにより、バス通学の人とそうでない人には朝の学習時間にわずかな差が生まれることになる。たかが二、三十分と思う人もいるかも知れないが、積み重なればその時間の価値は大きい。このことは登校時だけではない。休み時間や家でのわずかな時間も、積もれば大きなものとなる▼この登校時などのいわゆる「スキマ時間」の良いところは、「スキマ」であることだ。短時間だからこそ集中できるところがメリットである。忙しい運動部員にはありがたい時間だろう。無理して長時間勉強しようと自分にプレッシャーをかけることもないし、集中力がなかなか持続しない人にもお勧めだ。時間が短くとも、確実に知識を蓄えることはできるだろう。▼また、「スキマ時間」にも種類がある。前述したバスでの登校時間、休み時間、放課後などだ。それぞれのスキマで自分が何をするのか決めておけば尚良い。バスの中では英単語、休み時間には古文単語、トイレの中では英文法：など。同じスキマで毎回同じことを繰り返すと、自然と習慣も身についてゆくだろう。まずは一週間ほど、続けてみてはいかがだろう▼すでにスキマ時間を見つけている人も、さらに探してみてはどうか。多忙な能高生こそ、「スキマ時間」を有効に活用していきたいものだ。

振り返るあの行事

【能高祭】
三BのHRデコがみんなで協力したかいがあって最優秀賞をとることができました。最高でした!!　（K・L）

【能高祭】
大きなセット作りも劇の練習も大変だったけど本当に楽しかったHRデコ。結果は優勝！クラスのチームワークがすごくて、このクラスでよかったと思った。　（ぷー）

【体育大会】
決勝戦の盛り上がりはすごかった。準優勝だったけど、バレーが大好きになりました。　（コリ）

【能高祭】
のど自慢にコスプレしてて参加したこと。　（ランゲルハンス島）

【十里強歩】
KF君と走ったのですが、「ゴールは一緒な!!」と自分で言ってきたKF君が僕より三センチ先にゴールして負けてしまいました。悔しかったです。　（夢見る名古屋城）

【十里強歩】
三年生の十里強歩。写真に写るために走って踊ってポーズ決め。　（ふる）

【能高祭】
当日各クラスのHRデコホラー系）を回って一年生のときも二年生のときも三年生のときも泣いて帰りました。みんな怖すぎ。　（ろびんそん）

【十里強歩】
三年生の十里強歩での関門ごとにアクエリアスの一ポイントシールを集めたら六十枚ぐらい集まってビーチサンダルを三つもあてたこと。（浄）
後輩の書道ガールズ最高だった♡　（ウォルト）

【体育大会】
二年生のときに流した悔し涙を三年生のリレーで嬉し涙に変えることができる。　（匿名）

【修学旅行】
毎日がHAPPY♡（女）
寝台でみんなで騒いだこと　（バク）

【十里強歩】
関門ごとにお菓子をたくさんポケットに入れていった。学校に着いた頃には軽く山ができるほどだった。とてもおいしいいただきました☆　（ニャン）

【能高祭】
連立すさまじい暑さの体育館で作業をして一週間で四キログラムも体重が減った。　（K・K）

【十里強歩】
友達が消えたノと思ったら道路から落ちていたこと…!!下が川じゃなくて本当によかったね♡　（くるーそー）

【十里強歩】
関門ごとにチョコやせんべいをくすね、大関門でうどんやら梨やらおにぎり等々を食べまくったら、歩く前より体重が増えてた…。ドウイウコトナノ…。　（試製甲砲）

【十里強歩】
夜遅くの学校はとてもテンションが上がった!!恋話で盛り上がったりできるし、男子諸君がヒーローになれる貴重な行事だぜ♡　（●´ω`●）

【修学旅行】
徹夜が楽しかった。押入れで寝ると体が痛くなった。　（イチロー）

【十里強歩】
人生で一番多く走ったかもしれない。本当につらかった。　（ラーマ）

【修学旅行】
京都市内をグループで迷いながら歩いたのが楽しかった。バスが多くてかなり焦った。　（匿名）

【修学旅行】
二十対一の枕投げはすさまじかったです。（ベタジーニ）

【能高祭】
三年のHRデコで水びたしになったこと。教室の片づけが大変だったけど楽しかった。　（か）

【十里強歩】
三年の十里強歩で全身が疲労でビキビキになりながらも完歩できたこと。あと翌日の疲れ。　（元子）

【体育大会】
綱引き観戦してたら前の人が全ケツだったー!!　（ひびっと）

【修学旅行】
途中で風邪引いてインフルエンザかもしれないとビクつきながら行ったUSJは楽しくある意味スリリングだった。

能高祭

能高祭

体育祭

一会

先生方とのエピソード

英語の時間、具合が悪くなった女子生徒を心配する清水先生が普段と違った優しい声だったことに感動した。　（匿名）

澤田弦吾先生はなぞです。普段は絵筆を持ち、ある時はテニスラケットを持ち、またある時はバスケットボールを。部活中に一緒にバレーをして遊んで楽しかったです。　（み）

吉田先生に大学の合格を報告した時、最初に何も言わずに微笑んで握手してくれましたああア［(^o^)］クーデレ万歳!!　（大丈夫だ、問題ない）

鈴木道生先生が、授業のことを忘れて、お昼を食べていました(笑)　（ふ）

体育のT先生。「とにくい靴ひもの結び方ってありますか?」と聞いたら、ひざをついて私の靴ひもを結びだした!!「人を下僕のように扱って…」とT先生は嘆いた。いや、頼んでませんカラー!!しかし、ありがとうございました。五日ほどほどけませんでした。　（のしすあきた）

人生で初めて、歩く辞書に会ったと思ったら大庭先生だった。　（匿名）

日景先生が、「オレにとって肉とカレーは飲み物だ」とおっしゃっていました(笑)　（名無し）

藤原孝一先生が離任式のときに、約束していたキットカットをクラス全員にくれた。（最初はあじまんだったのに…）　（ベム）

柏谷先生の大きさと、武田先生の字のうまさには焦った。　（M・J）

加賀先生のご家族と、大昌園で二回も会いました。（能代のじゅんじの友達）

高田先生の事内で流れるデフテックMY Way(笑)　（・x・）

編入試験のときの面接の先生たちとの会話。緊張してわずかにしか覚えてないけど。　（マルタイ）

山村先生には能高祭の喫茶部門でとてもお世話になりました。僕の将来について、僕の性格をふまえた上で真剣に相談にのってくれました。　（きたやま）

友達と昼食をとっていた時、偶然その場所に先生方がいて、後ろその店のカツ丼の話を語った。　（S）

水泳部の東北大会で、みんなで温泉に行ったこと!田口先生、原田先生、ありがとうございました♡楽しかったです!!　（@アトヌの嫁）

吹奏楽部で二年間奥山先生にたくさんお世話になり、アンサンブルコンテストでは県大会金賞、夏のコンクールでは県大会銀賞を受賞することができ、そして何より先生のおかげで最高に楽しい部活動の日々を送ることができました。（匿名）

誕生日の時に、国語科のK先生がハッピーバースデーを歌ったことがあった。すごく・・・上手いです。　（V-Pな人）

1・2年へメッセージ

1、2年生へ。購買のタルトおいしいよ!!　（青ペン）

勉強したくない気持ちはよく分かる。でも毎日勉強しよう。後でものすごく苦労する。僕みたいに後悔がないように勉強していってほしい。　（★・K）

野球部へ。机で勉強するより、野球で得たものの方が大きいと、自分は思います。文武両道だけど、野球がんばれ!!　（べに）

吹奏楽部へ。3年生で最後の年、部活の大会と自分の誕生日が一緒でした。結果はゴールド金賞!!部のみんなのおかげで最高の誕生日になりました。ありがとう!!　（ろびんそん）

友は一生の宝です。大切にしましょう。（サリチル酸メチル）

受験は一人。でも助け合いはできます。（Y・S（笑））

勉強だけが全てじゃないわ。高校生活は人間性が一番成長する時期よ。無駄な時間にしないで頂戴。（黒猫）

後輩の皆さん、大庭先生に鼻でわらわれないように頑張って下さい。（ガンマ6）

人生は紆余曲折。by歴代の校長。（柏崎せもぽぬめ）

1、2年生へ。ニツ井にある「萬福」にラーメンを食べに行って下さい。（ベタジーニ）

1、2年生の皆さんへ。三年間は本当にあっという間です。一瞬一瞬を大事にして、悔いのないように過ごして下さい。（マイケル）

部活の後輩へ。うるさい先輩で本当に悪かった。のぶお、入部してかずっとふざけてスマンかった。あとは…、スヌピーへの昇進おめでとう☆晴れて君は自由の身。（ベム）

先生方の高校生活

★柏谷　浩樹先生★
学校祭で甘装しました。お風呂上りの大甘という設定にしたため、バスタオル一枚でステージに上がりました。

★佐藤亜希子先生★
入学したとき、生徒会長、応援団長、部活の先輩にあこがれていました♡知的で凛々しく、優しい……自分もそういう女性になりたいなと思いながら高校生活を送りました。
甘子高、楽しかったなー。

★荒川　正明先生★
私は「自在の像」になりました。

★鈴木　道生先生★
部活動のボートに明け暮れた三年間でした。まさが職場で後輩に会おうとは……。

★櫻田　博憲先生★
卒業アルバムのクラス集合写真で、やけにカマっぽく写ってしまったこと。（教訓～後悔先に立たず、皆さんも手遅れ）

★山崎　史織先生★
高校時代、生徒会副会長・手芸部でした。（体を壊すまでは水泳も……）忙しいなぁ、と当時は思ったりもしましたが、今となってはいい思い出で、貴重な経験になったと思っています。

★三浦　政博先生★
学校祭の「のど自慢」で数学の先生のものまねをし、大喝采を浴びました。

★鎌田　清隆先生★
定期考査。数学で百点満点中、部分点〝一点〟さすがにヘコんだ。

★谷内　敦子先生★
私は県南の高校生。冬になると、四時に起きて除雪。ただ、吹雪になると意味がなく、疲れるばかりの冬シーズンでした。

青春の高校生活

間違って誘拐騒ぎを起こしてすいません。（ラーマ）

能代高校の先生方、たくさん寝てしまってゴメンなさい。（きうい）

青森山田戦のピッチャーライナー。痛くないと言って投げ続けたけど、本当はかなり痛かった…。（34KO）

更衣室に長い間放置してあった靴下を全部捨てたのは、私です。（natural）

一年生のときにインフルエンザで考査を全日程休んでしまった時に、追考査願いを全教科の先生に回してくださった荒川先生、ありがとうございました。（匿名）

櫻田先生のユニークなネクタイに毎時間注目してました（笑）（キララ）

三年C組のとある人へ。小林亜美さんは俺です。（天使ちゃんマジ天使）

学校に来るときに車から降りたらスカートのホックが止まっていなくて、スカートが落ちました。（ふじたろくばる）

部活動中週三回花月。（レンタル割りばし）

自習の時間…意識がなくなり…ふと気づくと目の前には校長先生がいました…。（Y）

ひげ男爵のモノマネは消し去りたい過去なので、どうか忘れてくださいお願いします。（メガねの人）

授業中に先生の似顔絵を書いていました！（笑）（N②）

頭痛、肩こりなんであるわけないだろ。そう思っていた時期もありました。（V-Pな人）

一、二年生の時はほとんど勉強をしていませんでした（笑）一時間でも毎日勉強していれば成績が全然違っていたかもしれません。（S）

川島先生、かわいかったです。（ティズニー）

数学γ（ガンマ）で六点取りました。おかげで友達たくさん出来ました。（ガンマ6）

（匿名）

★3年生との思い出★

★佐藤亜希子先生★
2年生から3年生になるときのクラス替えの際に色紙をもらったこと。2年生のときにもらうのは初めてだったので大変驚きましたが、嬉しかったです。大切に飾ってあります。

★鎌田　清篤先生★
2年次終りに〝突然〟知ったクラス替えに涙する女子生徒が印象に残っています。

★柏谷　浩樹先生★
4月に、一年ぶりに皆さんと出会い、立派に成長していたことにとにかく感動しました。

★荒川　正明先生★
楽しいこと、辛いこと、毎日が思い出です。

★日景　聡先生★
校内体育大会のソフトボールで優勝したり、他の競技で皆が頑張ったこと。

★加賀　紀昭先生★
40歳の誕生日を祝っていただいたこと。なんて思いやりのある生徒たちなんだろうって本当に感心しました。

★石井　勇悦先生★
熱心に授業を受ける姿です。

★岩谷　宣行先生★
全員と接してはいませんが、クラスによる団結、能高祭でのけん引、感動しました。

★澤田　弦吾先生★
今年の3年生と一緒に入学してきたので、一年生だった彼らを良く覚えています。元気のあり余る彼らが、立派になったものだと感慨深く思っています。

★小井田芳雄先生★
文芸部の3年生と福島県いわき市の大会に参加したこと。素晴らしい一面を見ることができた。また彼の陰謀でフラダンスをやることになり、投げキッスまでサービスした。彼は「酔っているのですか？」と冷静だった。

★山崎　史織先生★
何事にも素直で一生懸命。優しい心を持った皆さんでした。3年生の皆と授業が出来て、出会えて、良かったです。

★櫻田博憲先生★
一つは、入学式後の集会で荒川主任が熱いあいさつ（決意表明）をしたこと。次に、授業で、成田滉平君が、何の躊躇もなく、スリジャヤクルダナプラコッテを答えた瞬間。

★鈴木道生先生★
物理の授業中にみんなで感電。

一期

秋田市はチャリで行くところじゃない。（ibu）

女バスのみんなに。県北一位☆全県ベスト☆がんばれー!!!（TMI）

当たり前ができてこそ、より自分を高めることができると思う。当たり前のできない人の方が絶対に多い。お互いが他人を思いやって、お互いを高め合うことができるよう、当たり前って思うことをしっかりやってほしい。（匿名）

これから先、より時間に余裕れることはあり時間を大切にす。ください。（マ

受験にしても、将来選択にしても、先ずは自分を知ることが重要です。何ができるかよりも何をしたいか、どう在りたいか、「ゴール」を定めれば、自分が何をすべきか見えてきます。また、ゴールへのアプローチは、基本的に一通りではありません。最適な方法を探すには、その道を精一杯好いて、もがくことだと思います。まずは、自分を知ることから始めてはどうでしょう。（蒼鳩）

卒業生へ贈る言葉

これからも愛される人間になって下さい。卒業おめでとう。（佐藤亜希子先生）

親元を離れて、親のありがたみを知れ！（鎌田清篤先生）

求めよ、さらば与えられん。たずねよ、さらば見出されん。門を叩け、さらば開かれん。〈聖書より〉（柏谷浩樹先生）

前を向け！一歩踏み出へ！（荒川正明先生）

君たちは、能代高校に入学して良かったですか？なんと言っても母校になるのですから。（日景　聡先生）

人間的には魅力を感じさせる皆さん、もっと以前より知っていたかったです。（岩谷宣行先生）

卒業おめでとう！五年後に、あなた達が立派になっている姿を見るのを楽しみにしています。（澤田弦吾先生）

広い世界を肌で感じよう！たくさんの人と交流しよう！（小井田芳雄先生）

歩々是道場（ほほこれどうじょう）→地球のどこでも修行はできる。（三浦政博先生）

いつも〝今、この時〟を大切にして下さい。皆さんの未来が明るく豊かなものになるよう心から祈っています。（山崎史織先生）

厳しい時代、不透明な時代と嘆いても仕方ない。隣人と支え合い、全力で自分の人生を生き抜いてください。（櫻田博憲先生）

会者定離～一日一日大切に～（谷内敦子先生）

卒業おめでとうございます。みんなの明るい未来を祈っています。（鈴木道生先生）

新しい出会いを大切にして下さい。卒業おめでとうございます。（京極秋弥先生）

皆さんと一緒に全国優勝した思い出は一生忘れないと思います。すごく楽しかったです。ありがとう。（今畠寿樹先生）

「禍福は糾えるの如し」（幸福と不幸はより合わせた縄のように表裏一体であるということ）何が自分にとって大事幸いになるのかは、多分死ぬまでわからないと思います。すべてが最後にはプラスになると考えてください。（石崎敦史先生）

見える世界を広めよう。見えぬ想いを深めよう。（石井勇悦先生）

★岩谷　宣行先生★
苦手分野の克服よりも、好きなことに集中して過ごした気がします。写真部。まじめに活動してました。

★石崎　敦史先生★
高校三年のとき、日本海中部地震で中間テストが数日延期され、学校も休校になった。再開したとき、もちろん最悪の結果だったことが思い出ですね。

★石井　勇悦先生★
文化祭をさぼって、友人と原田知世のコンサートに行きました㊙

★今畠　寿樹先生★
野球と勉強の両立が大変だったという思い出しかありません。

★京極　秋弥先生★
私自身卒業式のとき、友達と別れることが寂しいと思うよりも、やっと自由になれたというすがすがしさの方が勝り、泣けませんでした。

★小井田芳雄先生★
応援団をやっていたので、卒業式で久々にエールをやった。大学に落ちてしまい不安もあったが、新しい船出に期待でいっぱいだった。

★澤田　弦吾先生★
私は部活ばかりしていて、あまり勉強をしないで気の悪い生徒だったので、受験勉強で苦労しました。一・二年生は今のうちからコツコツ頑張ってください。

★加賀　紀昭先生★
まず最も夢中になっていたのは楽器です。勉強もしました。友達とバカなことをやったり、他愛のないことで笑ったり……どこにでもいる感じの高校生だったと思います。

★日景　聡先生★
高三のときに死ぬほど勉強しました。あのときの頑張りに比べれば、何でもできそうな気がします。

後輩へ贈る言葉

CA通信の魅力!!

能代高校では、進路指導からCA（キャリアアドバイザー）通信が発行されている。発行は平成二十年度から始まり、その総数は現在通算約二百号で、毎年通信を集めた「送る言葉」も刊行されており、今後ますます充実していくだろう。

CA通信は仙葉清志先生のご尽力によって発行中だ。毎号に能代高校同窓生の方々による体験記と、私たち後輩に対するメッセージが書かれている。文理選択についてや、大学で学んだこと、あるいは職種のことについてなど、それぞれの先輩方が歩んできた個々の人生が、深い内容で記されている。さらに、裏面には大学や進路に関する新聞記事の抜粋も載っており、最近では大学生の就職難の記事が多い。また、小論文の実際に出題された問題と、その回答例が載ることもある。

今回、仙葉先生に直接お話を伺うことができた。仙葉先生は、先輩方の軌跡、歩んだ人生を参考にして、自分たちの将来を設計して欲しいとの思いからCA通信を発行しておられる。一度で目標を達成した人、失敗した人、第二志望を選んだ人など、人生はさまざまだ。だがその中で道はいくらでも広がっており、そこから成功した人もいる。また、一心に自分の意思を貫いた人もいるのだ。

そして、先輩方からのメッセージには共通点があるということだ。それを順に並べてみると、

①志をもっていること
②努力をしていること
③人生は思い通りにならないこと
④友達、先生との出会いを大事にしていること

の、四つである。

①について。志は夢をかなえるための支えになるもので、誰もが抱いている。そのため、私たちが立てている「Wi-1プラン」は、その志を持つために重要なものとなる。

②と③について。人生は思い通りには決してならない。成功した人は、人生の偶然性を受け入れて、その中で全力を尽くして努力してきたのだ。

④について。先輩方は友達や先生を始めとして、人との出会いに皆感謝をしている。これは学生時代だけではなく、社会に出た後も同様である。人との出会いを皆、大事にしてきた。

この四つ以外にも、受験勉強について語っている先輩も多い。受験勉強の辛さを乗り越えたことが自分の力となり、自らの精神を鍛えることに受験勉強は有効だと語る。また、勉強そのものが社会で役に立つこともある。大学合格のためではなく、受験勉強は将来社会において自分のためになるものなのだ。

そして最後に、能高生に仙葉先生からメッセージをいただいた。「得意な科目、好きな科目をより得意にして、そのおもしろさを見つけるまでやってほしい。同時に、先生方による指導を大切に。また、CA通信は一年生には少々内容が難しいかもしれないが、できるだけ皆に読んでもらいたい。特に三年生には小論文の解答例を読み、将来に備えて欲しい」

仙葉清志先生

能代を変えよう！
～まちかどミーティング～

平成二十二年七月十四日、能代高校視聴覚室にて、「まちかどミーティング」が行われた。市側出席者には、市長・教育長・環境産業部長・同部次長・農林水産課長・企画部長・同次長・地域情報課長・同課広報広聴係長・同係主査などを迎えた。能代を発展させるために何をすればよいのかを高校生のフレッシュな視点から改善を考え、市が参考にするという目的のもとに、三組三十四人がそれぞれ九〇分にわたる熱いプレゼンテーションを繰り広げた。

「故郷能代にもっと元気であってほしい！」

＊発表者…二年生十一人
＊発表内容：能代を都市化ではなく地元の農業に着目し、農作物の生産の拡大、農産物の新しい利用方法の提案などの農業振興や、今、能代にあるものの次世代への有効活用を。具体的な例として、農作業体験、米を使ったお菓子作り、酒造りの推進、廃校を農産物直売所へ…など。

＊市長からのコメント…農業は「中心産業」の一つである。重要なのは、「エネルギー・環境・食料」だと思うし、能代には肥沃な土地があり、優秀な農産物を作ることができ、大きな財産である。

「中心から栄える」

＊発表者…二年生八人
＊発表内容…現在出店計画中のイオンショッピングセンターを街なかに建設させ、イオン商店街とする。畠町・柳町の商店街を活用した新しい形態のショッピングモール。市の中心から盛り上げていこうというもの。

＊市長からのコメント…とても参考となったが、現在でも空店舗の利用に際して貸してくれる店舗がなかなかないなどの問題がある。しかし、従来はなかった「イオン商店街」という発想は、ユニークで柔軟な提案として聞かせてもらった。

「パレットのしろ」

＊発表者…二年生十人、一年生五人
＊発表内容…ストリートバスケ大会等による「バスケの街能代復興計画」、能代のおいしいものを市民全員に知ってもらおうという企画「know（の）代物産展」などの実施。

＊市長からのコメント…「ストリートバスケ」「ミニマムフリースロー」等は、従来も単発では実施していたが、提案のように、畠町の活性化と一体となって、今まで話された様々なイベントも一緒に開催できれば素晴らしいと思う。

運命を決めるエンピツ

三年ぶり開催！ 第50回 十里強歩

能代高校の伝統行事「十里強歩」が九月五日に行われ、生徒たちは夜道の中、ゴールを目指し、体力と精神力の限界に挑んだ。

今年で六十回目の十里強歩は強い体と精神力を養うために始まった。戦中戦後の食糧難や交通事情の問題により中断・中止、コース変更はあったものの、現在まで受け継がれている。昨年度は新型インフルエンザにより中止となったため、二年ぶりの開催となった。

男子二百七十五人女子二百九十三人が参加し、それぞれ同校から三十六・五キロ、常盤の里から十九・七キロを走るコースだ。

開会式では山本達行校長先生が「十里強歩は競技ではない。生徒自身が苦しさに耐えながらゴールを目指すことによって、受け継がれてきた強い精神を養うことができる。目標を立て努力することが大切である。完歩目指して頑張ろう」と生徒を激励の後全校生徒は、応援団のエールをうけて校歌を歌い、士気を高めた。

緊張感が高まる中、午前零時の合図とともに男子が一斉にスタート。その後、女子もスタートし、全力で走ったり友達との会話を楽しみながら走ったりと思い思いにゴールを目指した。

沿道や関門では父母の方々や地域住民が応援の言葉を生徒たちにかけ、生徒たちを励ました。常盤関門ではスポーツ飲料やお菓子の他にうどんやおにぎり、フルーツなども用意されており、男子生徒がエネルギー補給をし、再び元気に走り出していく姿が見られた。

校舎にゴールすると、一人一人校長先生から賞状とねぎらいの言葉を頂き、疲労感の中にも、自らの体力や精神力に打ち勝った自信に満ち溢れた表情を覗かせていた。

また、今年度はリタイアがわずか十二人と少なく、男子は二百六十五人、女子二百九十一人が制限時間の午前八時までに完歩することができた。

提供：佐藤写真館
勢いよくスタートした選手たち

三浦健太朗さんが特賞を受賞
秋田県高校美術展にて

2年D組の三浦健太朗さんが12月5日～9日に実施された秋田県高校美術展彫刻部門に、「神隠し」という作品を出展し、見事特賞を受賞。今年の8月3日～7日に実施予定の第35回全国高等学校総合文化祭工芸部門への参加を決めた。

また、吹奏楽部が1月23日～24日第32回アンサンブルコンテスト秋田県大会に参加し、打楽器四重奏で銀賞、サックス四重奏で金賞を勝ち取り、2月24日の全日本アンサンブルコンテスト第37回東北大会では、サックス四重奏で銀賞に輝いた。今年度も運動部、文化部共に活躍の目立った年となったが、今回は、美術部員の三浦健太朗さんにインタビューに答えていただいた。

―この作品のタイトルである「神隠し」の由来は何でしょうか？

「まず一つは、鏡に映像が〝映る〟（実際には反射している）という現象は、〝神秘的〟あるいは〝神聖なもの〟として昔から人間の世界各地での認識が強いので、そこから〝神〟という字を思い描きました。そして次に、この作品を覗き込むと鏡の欠片に自分の顔がいくらも映るので、本当の自分を見失うという意味でもこの名前にしようと考えました。

―この作品の苦労・工夫したことは何ですか？

「まず、大量に鏡を使ったので金銭的な面で大変でした（笑）ひたすら鏡をパズルのように隙間なく貼りつけていく作業だったので物凄く集中力を要しました。手の型はできるだけ頑丈に作りたかったので、澤田先生の関係者の方からギプスをおかりして型をとらせて頂きました。

―最後に感想とこれからの豊富をお願いします。

「自分の作品が今回の大会で評価して頂けたのは非常に光栄に思っています。今回特賞を頂いたことにも浮かれないよう、多くの人々を楽しませるような作品を作っていきたいと思います。

作品「神隠し」

ヘビ？ ウサギ？ 能高に動物出現

後期に入り涼しくなった頃、能代高校に様々な動物が出没し、話題となった。中庭にはウサギ、校長室にはヘビなどが現れた。その中で最も注目を浴びたのは、硬式野球の部室に住み着いたネコの「すみれ」である。

すみれが初めて姿を見せたのは昨年の十一月頃。白と茶色の毛をした野良猫である。人懐っこいのですぐにアイドルとなったすみれは、部員からパンや弁当の魚を餌に与えられ、可愛がられていた。

しかし、雪が降り始めるといつの間にか姿を見せなくなった。二年C組の三浦俊洸君は、「すみれがいなくなって寂しい。冬は寒いから飼い主が見つかっているといいな」と不安を口にしていた。

三月はすっかり春の息吹が感じられ、動物も活発になる頃だ。今年はどんな動物に出会えるのだろうか。

編集後記

まず始めに、卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。この校友時報に込められた先生方や後輩からの多くのメッセージを、ぜひ受けとってもらいたいと思います。

そして発行にご協力くださった皆さんと、これまでご指導くださったお二人に、本当にありがとうございました。

五味　怜子

新聞部募集中！
～君の一筆で能高に光を～